

平成 27 年度自主防災組織実態調査結果について

1 目的

自主防災組織の防災活動の状況や課題などを把握し、今後の施策の参考とするため、県内の全組織（約 3,100 組織）に対し、次のとおり調査を行った。

2 実施方法等

(1) 調査対象	広島県内全域
(2) 調査数	3,102 組織
(3) 調査方法	郵送法（郵送配付，郵送回収）
(4) 調査時期	平成 27 年 7 月 1 日（水）～10 月 16 日（金）
(5) 回収数	1,834 組織（回収率 59.1%）

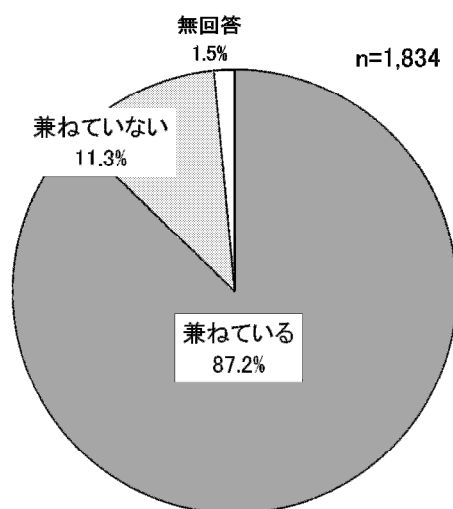
3 調査項目

項目	内容（主なもの）
組織の現状	○組織の構成 ○代表者（会長等）へのサポートの有無 ○世帯数及び人数
活動状況	○過去 3 か年の活動状況（内容・回数）
参加状況	○住民の参加人数 ○住民参加率
今後の活動課題	○活動の支障となっていること ○今後活発に活動していくために必要なこと

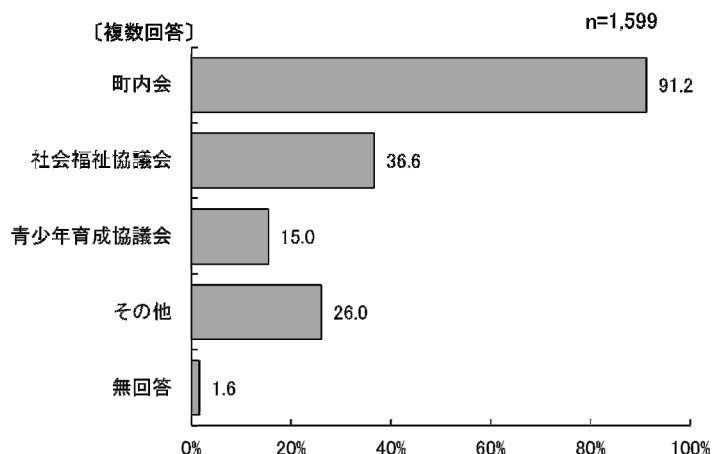
4 調査結果の概要

(1) 自主防災組織の現状

① 代表者（会長等）の役員兼務の有無

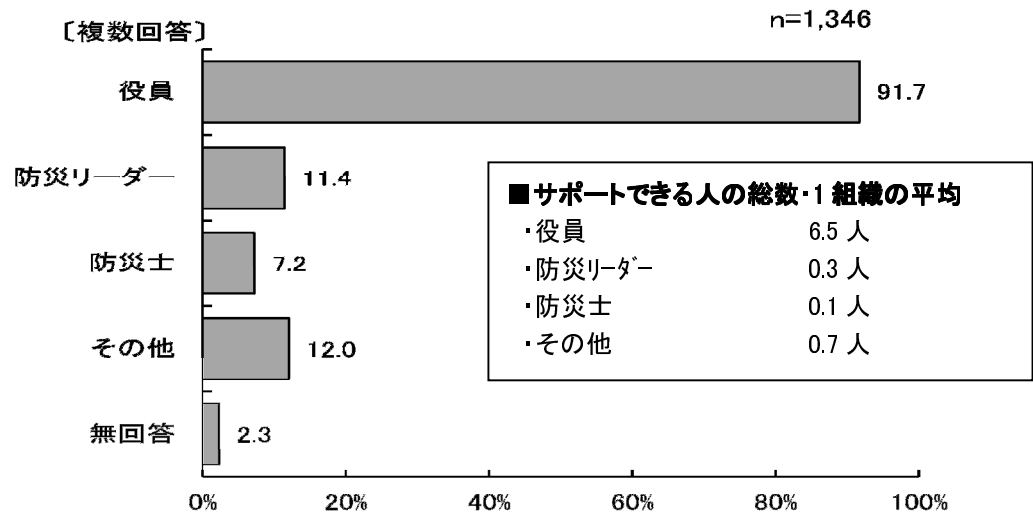


「兼務している」場合の具体的に兼務している他の地域団体



自主防災組織の代表者（会長等）の他の地域団体の役員職の兼務については、「兼務している」が約 9 割を占め、兼務している他の地域団体は「町内会」が 91.2% で最も高い。

② 代表者（会長等）へのサポート



代表者（会長等）をサポートできる人がいる組織は7割を超えている（73.4%）が、そのうち、専門的知識や技能を有する「防災リーダー」及び「防災士」がサポートできている組織は2割に満たない。

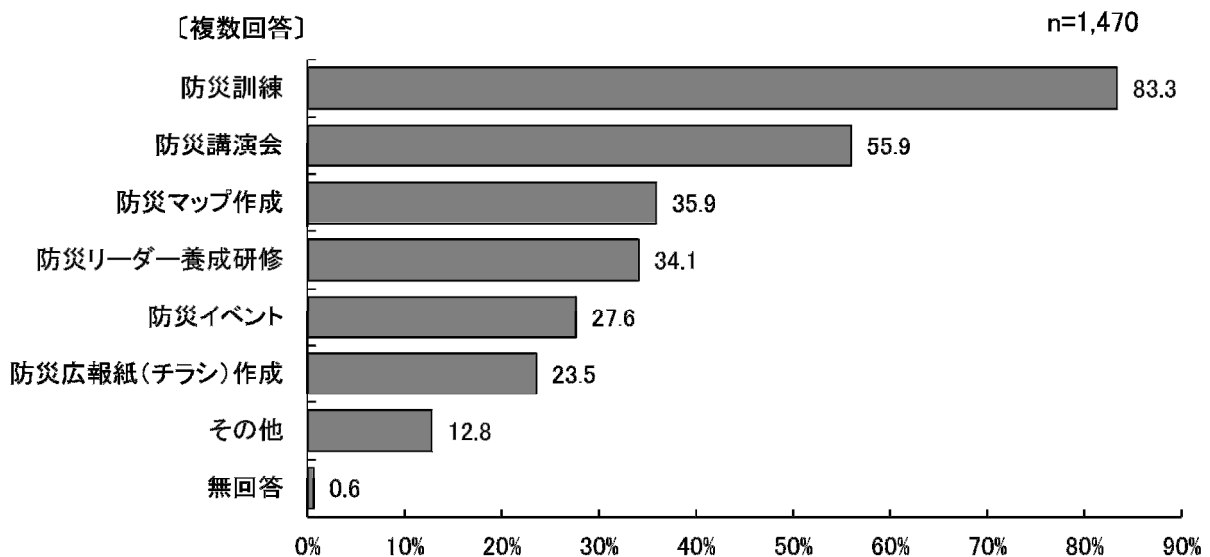
③ 自主防災活動への住民の参加状況

毎年増加している 11.5%
 変わらない 57.3%
 減少している 17.3%

「毎年増加している」は1割程度に留まる一方で、「減少している」は2割近くにのぼっている。

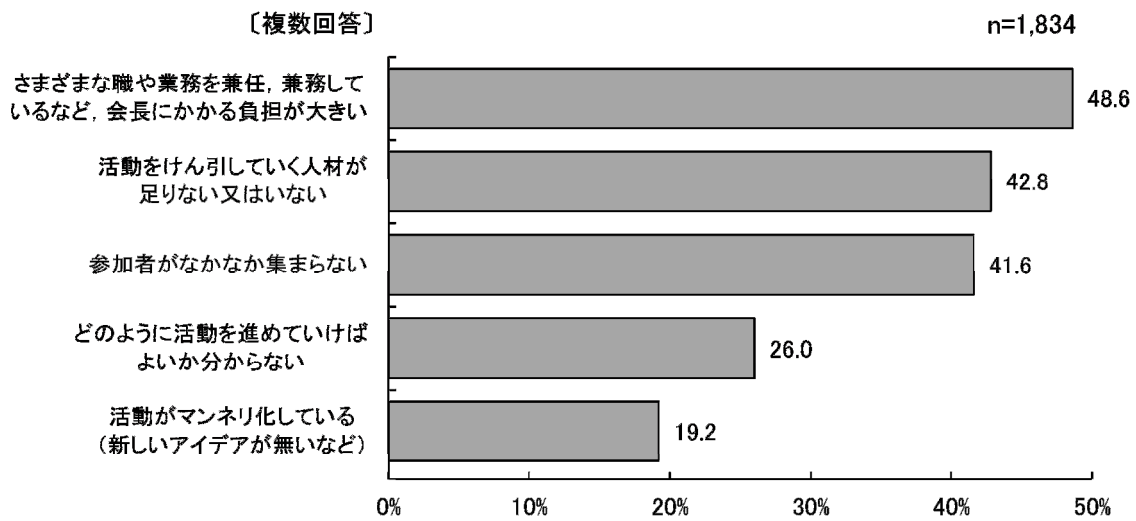
④ 活動の有無及び活動内容

平成24年度からの3か年の間に、活動を行ったことがある組織(80.2%)の活動内容



活動内容は、「防災訓練」、「防災講演会」が多数を占めているが、それ以外にも、防災マップ作りやイベント等多様な活動があることは浸透していない。

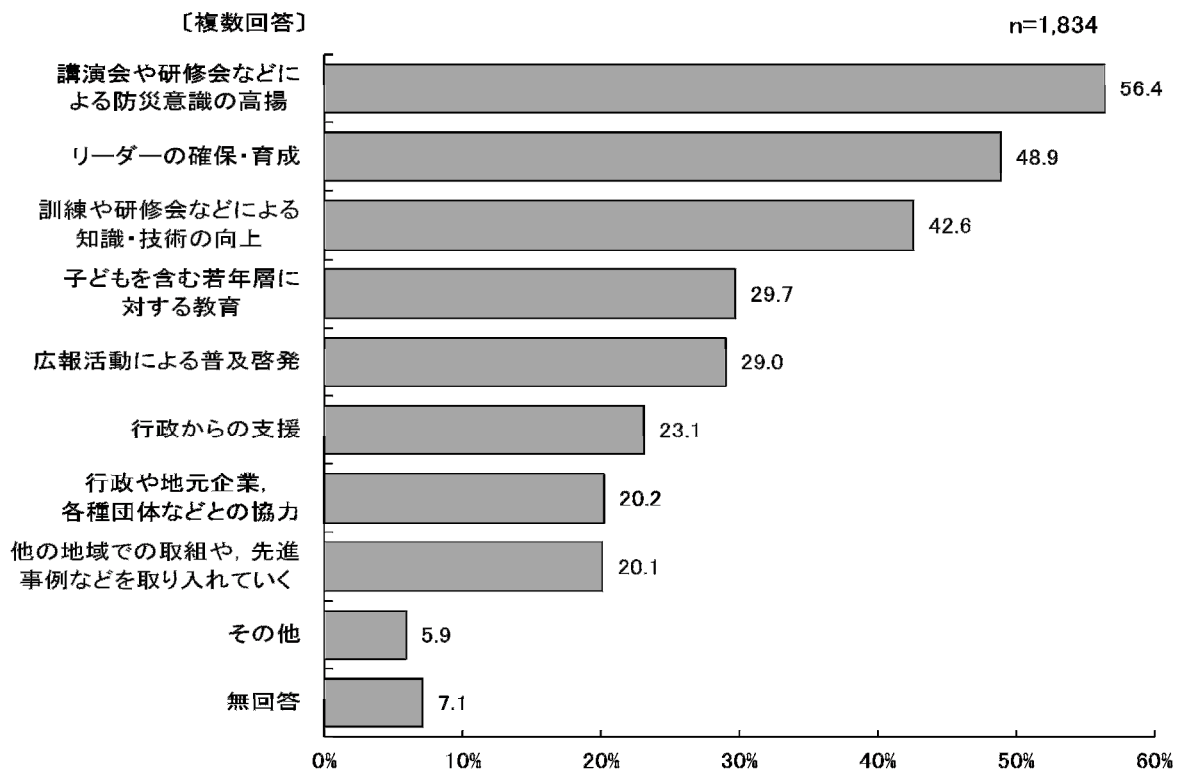
⑤ 活動の支障や問題となっていること（困っていること）



- ・ 代表者（会長等）にかかる負担や、活動を支える人材の不足が課題と回答した組織が半数程度に達する。
- ・ 参加者が集まらないとの回答が4割を超えている。
- ・ 活動の進め方や内容について困っている組織も多い。

(2) 自主防災組織の課題

自主防災組織が活発に活動を進めていくために必要なこと



5 今後の取組

今回の調査結果に基づき、自主防災組織が活発に活動を進めるための課題として次の3点に着目し、県としての取組を進めることとする。

① 住民の防災意識の向上

より多くの住民が活動に参加するよう、住民の防災意識を高めていくことが必要

② 活動を支える人材の確保・育成

専門的知識や技能を有する防災リーダー等について、継続的に養成していくことが必要

③ 活動ノウハウの向上

多様な活動が行われるよう促すことが必要



- ・自主防災組織活性化マニュアルを活用した取組の推進
- ・防災リーダーの養成
- ・自主防災アドバイザーの育成
- ・自主防災アドバイザーによる支援
など